

令和3年度

児童発達支援自己評価・集計結果

事業者向け

13部配布した結果、13部の回答あり（回収率100%）

西北五広域福祉事務組合
ステップアップセンターもりた

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	事業所で決めた改善策・今後に向けて
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題や集団活動を実施するうえで、必要なスペースが確保出来ている。また、個室も多い為、個々のペースに合わせて活動出来ている。 ・複数の指導訓練室がある事で、特性（自閉スペクトラム症等）を踏まえた個々を尊重するスペースが確保されている。また、身体を動かせる環境も整っている。 ・個別課題が行える個室がある。 ・個別課題、集団活動を行うためのスペースは確保されている。 ・個別支援、集団支援を行うスペースが十分確保されている。 ・大小複数の指導訓練室があり、活動内容に合わせたスペースが確保されている。 ・プレイルームや支援センターがあり、スペースは十分に確保されている。 ・十分に対応が出来ている。 	利用定員に対して、十分な指導訓練室やスペースが確保しています。今後も活動や個々の特性に合わせて、スペースを有効に活用しながら支援を提供します。
	②	職員の配置数は適切であるか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・人員基準を満たしている。個別課題では1名に対して支援者2名で支援をする体制を整えている。 ・国の基準を上回る職員数が確保されている。 ・適切である。 ・基準を上回る職員の配置数である。 ・国の基準を上回る職員数が確保されている。 ・適切である。 ・適切である。 	国の基準を上回る職員を確保しています。その為、活動内容に合わせて職員数を配置する事が出来ています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内は全てバリアフリー化されている。また、支援開始時にはプログラムを提示し、その日の流れを視覚的に理解できるよう、心掛けている。 ・本人が戸惑う事がないように構造化された環境を整えている。玄関にスロープがあり、事業所内は全てバリアフリー化になっている。 ・個室、トイレを含み全てバリアフリーとなっている。 ・事業所内は全てバリアフリーとなっている。 ・事業所内は全てバリアフリー構造になっている。 ・構造化された環境が整っている。事業所内はバリアフリーとなっており、玄関にはスロープがある。 ・ビジュアル等を使用し、分かりやすいような環境になっている。また、バリアフリーになっている。 ・指導訓練室やトイレの段差などにも配慮しており、バリアフリーとなっている。 	事業所内は全館バリアフリーになっており、遊べる場所や課題を行う場所、トイレ等は視覚的に理解できるようになっている。また、その日のプログラムについても、個々が分かりやすいように提示している。今後も継続し、特性に応じた環境設定を心掛けます。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の清掃の他に、現在は感染症対策として館内消毒を毎日行っている。活動内容によっては隣接する地域療育等支援センターも利用している。 • 毎日の清掃や、コロナ禍に伴う消毒の実施等、心地よく過ごせる環境を整えている。また、活動に合わせた大小大きさが異なる指導訓練室が複数ある。 • 今年度は掃除等の他に、コロナウイルス感染症対策の為、事業所内の消毒を毎日行っている。 • 政争の他にコロナウイルス感染症対策として、館内消毒、送迎車内の消毒を行っている。 • 毎日、清掃や新型コロナウイルス感染対策で消毒が行われている。 • 毎日の清掃、館内消毒を行っている。それぞれの特性や活動に合わせた、広さが異なる指導訓練室がある。 • 動の課題は支援センター、静の課題は個室と使い分けている。 • コロナウイルス感染症対策もあり、事業所内は清掃、消毒を徹底して行っている。 	今後も心地よく過ごしてもらえる環境を整えます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> • 日々のミーティングの他、今年度からはチーム会議を実施し、業務改善に努めている。 • 毎日のミーティングやチーム会議により、PDCA サイクルを基にした話し合いが成されている。 • ミーティングを行い意見交換している。 • 日々のミーティングを通じ、振り返りや改善点等を共有している。 • ミーティングを行い、話し合いの場が設けられている。 • 毎日のミーティングやチーム会議等により、話し合いが行われている。 • チーム会議をしたり、ミーティングで話し合い、業務改善に繋げている。 • ミーティングを通して情報を共有するようにしている。 	今後も日々のミーティングやチーム会議を継続します。その中で、職員それぞれが積極的に発言していく事で、更なる業務の改善に努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度の保護者等向け評価表の集計結果を全員で把握し、業務改善を図る為の会議を実施している。今年度も実施予定。 • 評価表を集計する事で保護者の意向を把握し、業務改善や業務維持に繋げている。 • 保護者からの評価後、会議を実施している。 • アンケート調査を実施後、その結果を基に話し合いをし、改善に繋げている。 • 保護者からの評価後、会議を行うことで改善に努めている。 • 保護者からの評価表の集計により、改善に繋げている。 • 毎年実施して集計し、業務改善に繋げている。 • アンケート等を実施して話し合いをし、業務改善につなげるようにしている。 	令和4年2月1日に自己評価の集計結果を基に改善策検討会議を実施しました。集計結果を基に今後の業務改善に繋がります。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のホームページで公開している。 ・ホームページで公開する。(公開は2月の予定) また、公開する事を広報誌にてお知らせしている。 ・ホームページにて公開。 ・ホームページに公開する予定である。 ・ホームページで公開している。 ・今後ホームページへ公開予定。 ・2月末までにホームページで公開する予定となっている。 ・ホームページに掲載されている。 	今年度中にホームページで公開します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1 2 <ul style="list-style-type: none"> ・予算等の都合上、これまで実施はしていない。しかし、外部評価については必要だと感じている。 ・経費や人材確保が難しい状態になっている。 ・現在、行っていない。 ・現段階では行っていない。 ・現在行っていない。 ・経費や人材確保が難しい状況である。 ・経費の問題もありすぐには実施できないが、今後考えていかなければいけない。 ・現在行っていない。 	経費や人材確保が難しい状態になっています。今後、経費の掛からないような形で、第三者が評価出来る方法を検討していきたいと思います。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1 2	1 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防の為、今年度は外部研修に出掛けていない。しかし、スタッフの中には、オンライン研修に参加しているものもあり、資料については全員閲覧している。 ・可能な限り研修に参加している。今年度はweb研修が中心であった。 ・新型コロナウイルス感染症予防の為、回数は少ないが、状況を見ながら参加している。 ・新型コロナウイルス感染症対策の為、オンライン研修に参加している。 ・新型コロナウイルスの影響の為、回数は少ないがオンライン等の研修に参加している。 ・コロナ禍のため、オンライン研修が中心であり、可能な限り参加している。 ・コロナ禍という事もあり、例年に比べて回数は減っているが、外部研修に参加したり、オンライン研修を受けている。 ・コロナウイルス感染症対策により外部研修は減っているが内部研修等を行っている。 	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、主にWEB研修での参加となっています。今後はこのような形の研修も増えていくかと思われませんが、可能な限り参加していく事で、職員の資質向上に努めます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行ったうえで課題を把握し、本人の保護者のニーズをすり合わせながら支援計画を作成している。 ・アセスメントを基に利用者と保護者のニーズを組み込んだ中での生活スキルの向上を目指した計画を作成している。 ・アセスメントを基に支援計画を立案している。 ・アセスメント表を使用し、個々に合わせた計画を作成している。 ・子どもと保護者の要望を確認しながら、それを踏まえて計画書を作成している。 ・利用者や保護者のニーズを基に、生活スキル向上に繋がるよう計画を作成している。 ・年度初めに、本人や保護者の要望を聞いて、支援計画を作成している。 ・アセスメントを基にして計画を作成している。 	今後も個々に合わせた計画の作成に努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で作成したアセスメントシートを使用し、個々の状況を把握している。 ・書類系を中心としたアセスメントツールを使用する事で、生活面において出来る事を増やせるようにしている。 ・事業所独自のアセスメントシートを使用している。 ・事業所独自のアセスメントツールを使用している。 ・事業所で作成したアセスメントを使用して作成している。 ・事業所独自のアセスメントツールを基に、出来る事を増やせるようにしている。 ・アセスメントシートを使用している。 ・事業所のアセスメント表を使用している。 	書類系を中心としたアセスメントツールがあります。それを通して個々の適応行動の状況を図っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達状況や特性、年齢等を考慮した中で支援内容を設定し、就学を見据えた支援も取り入れている。また、通っている保育園や保護者とも連携を図る事で、共通理解に努めている。 ・定期的にガイドラインを確認する事で、各支援に必要な項目を選び、具体的な支援内容を組み込んでいる。 ・家族の要望・相談を随時受けている。 ・ガイドラインを参考に、また、保護者の意向も取り入れたうえで支援内容を設定している。 ・基本的な生活スキルの向上や集団支援等をガイドラインに沿って設定されている。 ・ガイドラインを確認しながら、支援に必要な項目を選んで支援に組み入れている。 ・本人支援が中心となっている部分もあるが、家族支援（相談の受付等）も設定している。 ・支援内容など具体的に設定されている。 	今後も職員間で定期的にガイドラインの確認をしながら支援にあたります。

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に支援計画を見直し、それに沿った支援内容を設定している。 ・PDCA サイクルを繰り返しながら、計画に沿った支援を行っている。 ・支援計画に沿って支援内容を考えて行っている。 ・個々に合わせた課題の設定をし、楽しみながら取り組めるように心掛けている。 ・支援計画に沿って支援内容を考え行っている。 ・計画を確認しながら、沿った支援を行っている。 ・チーム会議で支援計画について見直したりしながら、支援を行っている。 ・支援計画に沿いながら、児童に楽しんでもらえるよう工夫して取り組んでいる。 	<p>今後も個々の支援計画に沿った形で支援にあたります。その中で、支援内容を工夫しながら、出来る事が増えるように支援を行います。</p>
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1 2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個人でプログラムの作成を行っている事が多い。今後は複数で行う事で、より個々に沿った支援が出来るのではないかと。 ・活動プログラムは業務分担により係が決まっています、その中で計画が立てられる。全職員がチームとして行っている。 ・1 児童に対し、2名のスタッフで対応している。 ・主に主担当が決めているが、相談して決めることもある。 ・主担当とサブが支援前に当日の支援内容を確認し合って支援を行っている。 ・業務分担により係が立案、その後全職員がチームとして行っている。 ・集団支援の際は担当同士で話をしたり、個別支援の際は主担当とサブで話をしながら行っている。 ・主担当とサブを設けて行っている。 	<p>各活動に主担当と副担当を置き、立案をしています。その立案を基に職員全体をチームとして行っています。今後、個別プログラムについても前日までに作成し、ミーティングを通して支援内容を職員間で確認します。</p>
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題や集団活動、制作・創作活動を組み合わせながら、固定化しないようにしている。 ・楽しめる環境を基にしているので、固定化しないように工夫している。 ・利用時の流れは統一し、プログラムを立案している。 ・個々に合わせて楽しめるよう工夫している。 ・支援計画に沿ったものを取り入れつつ、その都度内容に変化を付けて支援している。 ・楽しめるよう、新しいものも取り入れながら行っている。 ・本人の特性を考慮し、好んでいる活動を中心に、楽しみながら取り組めるように工夫している。 ・子どもの能力に合わせて工夫して行っている。 	<p>今後も継続しつつ、新たな活動も積極的に取り入れます。また、同じ目的の支援や課題に対しても、内容を変える事で固定化しないような工夫をします。</p>

⑩⑥	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動と集団活動を組み合わせ、個々の課題に合わせた形で支援計画を作成している。 ・曜日毎に個別活動と集団活動を分けている為、子どもの状況に応じて利用している。また、個別活動を選んでいる利用者については、適宜組み合わせて計画を立てている。 ・個々の個性をとらえながら、合ったものを考えて作成している。 ・個別支援日と集団支援日を分けて設定している。 ・児童の特性や個性を考慮しながら計画を作成して取り入れながら支援している。 ・曜日毎に、個別活動と集団活動に設定している。それぞれの状況に合わせて、計画を適宜組み合わせて立てている。 ・保護者の要望や特性を考慮し、支援計画を作成している。 ・個々の特性を考えながら楽しんで行えるように作成している。 	今後も個々に応じて、集団活動と個別課題を適宜組み合わせた計画の作成に努めます。
⑩⑦	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1 1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前の打合せについては行わない事が多い。支援内容の確認や目的について共通理解を図る為、今後は実施する必要があると感じる。 ・ミーティングにて確認している。 ・ミーティングを行い確認している。 ・主担当がサブに課題の内容を伝えている。 ・主担当とサブで支援内容を話し、共有し合っている。 ・ミーティングで確認している。 ・課題のねらいについて伝え、主担当とサブで確認し合っている。 ・ミーティングなどで確認している。 	個別のプログラムも前日までに作成しミーティングやチームで支援内容の確認を出来る環境を整えます。
⑩⑧	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・重要な部分についてはミーティングで共有し、支援内容や支援中の状況については、業務日誌に記載し、全員で共有している。 ・送迎の関係で当日は無理だが、次の日のミーティング時に情報を共有している。 ・ミーティングを行い確認している。 ・当日ではなく、翌日にミーティングを実施し、情報を共有している。 ・主担当とサブで支援内容を話し、次回の支援に繋げている。 ・次の日のミーティングで、情報共有している。 ・主担当とサブで話し合い、次回の支援に役立っている。 ・気付いた点を話し合っている。 	毎日のミーティングの中で、子どもの状況確認の他に、支援内容の確認や支援の検証・改善に繋がられるように職員間で連携を図ります。

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支援中はサブの支援者が記録をとり、その日の姿や支援内容の振り返りをしている。また、それを基に業務日誌への記載を行い、改善につなげている。 ・良い姿ばかりではなく、問題行動については細かく書く事で、振り返りや改善につなげている。 ・業務日誌やサービス提供記録に記載し、検証・改善に繋げている。 ・業務日誌の記録やミーティング等を通して、支援の検証、改善を行っている。 ・業務日誌で毎日記録し、改善に繋げるようにしている。 ・ちょっとした変化や気になる様子等を記載する事で、改善に繋げている。 ・不適切行動も記録を取るようにし、ミーティングで話し合い、改善に繋げている。 ・業務日誌などに記入し、改善を行っている。 	今後も良い行動ばかりではなく、問題行動等についても細かく記載するようにします。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・見直し会議はスタッフ全員で行い、意見を出し合いながら計画の見直しを行なっている。 ・定期的にモニタリングを行う事で、支援目標に沿った支援内容であったのかを確認しながら意見交換をしている。 ・9月・翌3月にモニタリングを行っている。 ・定期的にモニタリング会議を実施し、意見交換をして見直しをしている。 ・9月に見直し会議を行い、現在の様子を話し合うことで、よりよい支援が出来るようにしている。 ・定期的にモニタリングを行い、目標に沿った支援内容か等を確認、意見交換をしている。 ・最低でも年に2回、モニタリングを実施し、支援計画を作成している。 ・定期に見直し会議を行っている。 	定期的にモニタリングを行い、全職員で見直しの必要性を判断しています。今後も継続して実施します。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は同組合の相談支援が担っているケースが多い。その為、会議は実施されていないが、必要に応じて情報交換しやすい環境になっている。 ・サービス担当者会議が行われれば参画出来る体制は整えている。コロナ禍という事もあり、会議自体がない。 ・サービス担当者会議とまではいかないが、相談支援事業所が同組合にあるので、児童発達支援管理責任者が個々の情報を共有し、ミーティングで伝えている。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・コロナ禍の為、会議自体はないが、行われれば参画できる体制は整っている。 ・児童発達支援管理責任者や、担当職員が参画している。 ・会議がないので参画はしていないが、ある場合は児童発達支援管理責任者が参加している。 	サービス担当者会議の実施はありませんが、電話対応により情報を共有しながら支援にあたっています。

②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で実施しているわんぱく教室を通じ、保健士と連携しているケースがある。 ・また、こども園や保育園の保育士と連携しながら、支援を進めている。 ・連携を取りながら支援を行っている。 ・保育園の担当の先生と連携を取り、情報共有と相互理解に努めている。 ・保育園の担当の先生と連携を取り、情報提供と相互理解に努めている。 ・保育園等の担任の先生と連絡を取り合いながら行っている。 ・連携しながら行っている。 ・保育園などと連携を取って支援をしている。 ・関係機関から情報を受け、上司が行っている。 	主に、通っているこども園等の保育士と連携しながら支援を行っています。今後も継続して連携を図りながら進めます。
②③	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園やこども園での状況については、連携を取りながら把握するようにしている。移行支援という形で学校等から申し入れがあれば、保育所等訪問も含めて対応出来る環境を整えている。 ・当事業所の児童発達支援を利用していた利用者に関しては、養護学校との情報共有をした。 ・送迎時等、情報共有・相互理解を図っている ・情報共有をしている。 ・送迎時、情報共有を行っている。 ・児童発達支援利用児童に関しては、養護学校と情報共有している。 ・年長組の児童に関して、相談支援事業所を通じて情報共有をしたり、相互理解を図っている。 ・送迎時に情報共有をしている。 	今後も情報共有しながら、相互理解を図ります。
②④	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる児童については、必要に応じて行っている。また、申し入れがあればすぐに対応出来る環境を整えている。 ・養護学校を中心とした情報共有により、相互理解を図っている。 ・要請があれば即対応出来るような体制は出来ている。 ・要請があれば行える体制は出来ている。 ・相談支援事業所を通じて行っている。 ・養護学校利用児童に関しては、情報共有している。 ・以前移行支援会議を行ったケースがある。必要に応じて対応できる体制を整えている。 ・必要があれば情報共有をするようにしている。 	今年度は養護学校からの要請があり、支援内容等の情報共有を行ったケースがあります。今後も要請があれば、対応出来る体制を整えます。

②⑤	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1 1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の為、研修は控えている。 ・発達支援センターが主催となった研修（7月）に、事業所内の職員が参加した。その研修内容を園内研修（1月）を通して受けた。 ・入所職員が研修に参加している。 ・青森県発達障害者支援センターで主催している研修に参加した。 ・研修に職員が参加し、その内容を園内研修として受けた。 ・研修を受けた職員の資料を閲覧している。 ・感染予防の為参加していないが、研修資料を回覧している。 	青森県発達障害者支援センターが主催する研修に参加した。その内容については、内部研修を実施し職員間で周知する事が出来た。今後も研修等があれば積極的に参加します。
②⑥	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・組合で管理する農産物の収穫を通じ、地域の保育園やこども園等と交流会を実施している。 ・交流事業（サクランボ狩り）を通して、障害のない子どもと活動する場を設けた。その他にも計画はあったがコロナ禍により自粛した行事もある。 ・さくらんぼ狩りや栗拾いなど交流会を行っている。 ・新型コロナウイルス感染予防に努めながら、近隣のこども園や幼稚園とさくらんぼ狩りを行った。 ・サクランボ狩りを通して保育園と交流する場を設けている。 ・交流行事として、“サクランボ狩り”を実施。他にも交流行事の計画はあったが、コロナ禍により自粛したものもある。 ・サクランボ狩り交流会を行っている。（コロナ禍で実施出来なかったが、例年は栗拾い交流も行っている） ・こども園とはサクランボ狩りなどで交流会を行っている。 	今後も交流事業を通して、障害のない子どもと活動する機会を設けます。	
②⑦	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・所長が参加し、その内容を職員間で共有している。 ・コロナ禍の関係で今年度の地域自立支援協議会は開催されていない。 ・同組合で参加している職員がいる。また、その資料を回覧した。 ・主に園長が参加している。 ・コロナ禍により実施されていないが、実施の場合は職員が参加し、資料等を閲覧している。 ・所長が参加し、情報共有をしている。 ・今後会議があれば参加を予定している。 	所長を中心に地域の子ども・子育て会議等に参加しています。今後も参加した職員の情報を職員間で周知します。	

⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や事業所での様子を共有し合い、その都度、課題等があれば対応するようにしている。 ・問題が生じた時だけではなく、日頃から利用時の様子を伝えるようにしている。また、その中から家庭での様子を聞いて支援に役立てるようにしている。 ・連絡帳を介しながら行っている。 ・連絡帳や送迎時に保護者と情報を共有するようにしている。 ・連絡帳やサービス提供記録で情報共有を行っている。 ・日頃から、様子を伝えるようにしている。家庭での様子や保育園等での様子を聞く事で、支援に繋げるようにしている。 ・連絡帳や電話連絡を通じて、共通理解を図っている。 ・連絡帳を通して行っている。 	今後も保護者との連携を図りながら、共通理解に努めます。
㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングとまではいかないが、相談等があればその都度対応している。また、必要であれば来所していただき、相談できる環境も整えている。 ・日頃から保護者との会話を大事にしながら、助言と意識させないような自然な流れでアドバイスをするようにしている。 ・相談を受け、助言している。 ・上司に報告、相談し、所長補佐、児童発達支援管理責任者が行っている。 ・保護者からの相談を随時受けている。 ・家庭での様子を聞きながら、事業所での様子も伝えつつ会話をするようにしている。 ・必要に応じて行っている。 ・相談を受けたら必ず助言などを行っている。 	今後も子育てに対する保護者の悩みを聞きながら、安心して子育てが出来る環境を整えます。また、ペアレントプログラムの研修を修了した職員もいますので、必要に応じて対応出来る環境も整っています。
㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に丁寧な説明をしている。また、問い合わせがあれば、その都度説明を行っている。 ・契約時や保護者説明会（4月）の際に行っている。また、問い合わせがあった場合は書面を作り、丁寧に説明をしている。 ・契約時に説明している。また、随時、保護者からの問い合わせに答えている。 ・契約時に説明している。また、随時、保護者からの問い合わせに答えている。 ・契約時に説明を行っている。 ・契約時等行っている。 ・契約時に説明している。 ・契約時に説明をしている。 	今後も丁寧な説明を心掛けます。

	⑳	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況やニーズに沿った個別支援計画を作成し、保護者には支援内容等も丁寧に説明をしている。 ・ガイドラインを基に作成した計画書を作り、保護者へ説明した上で同意を得ている。 ・説明をした後に同意を得ている。 ・丁寧に説明をし、同意を得ている。 ・丁寧に説明し、同意を得ている。 ・ガイドラインを基に計画書を作成、保護者へ説明したうえで同意を得ている。 ・保護者や本人の要望も取り入れながら支援計画を作成し、丁寧に説明して同意を得ている。 ・説明をしてから同意を得ている。 	今後も個々に沿った個別支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けます。
保護者への説明責任等	㉑	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談には丁寧な対応を心掛け、事業所で対応出来るものは即対応している。 ・丁寧に対応しながら助言を行っている。その中で支援に組み込めるものは躊躇せず即対応している。 ・適宜対応している。 ・保護者に寄り添い、丁寧な対応を心掛けている。 ・相談があった際には、上司に報告、相談し適切な助言を行っている。 ・その都度対応しながら、助言等を行っている。 ・連絡帳や電話連絡を通じて行っている。 ・自ら対応できない場合は上司に相談している。 	今後も保護者に寄り添い、丁寧な対応を心掛けます。また、モニタリング作成時には備考欄を活用し、相談内容についての記載も積極的に行います。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	7 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度保護者説明会を実施し、当事業所を利用する児童の保護者全員を保護者会に入会していただく形にしている。しかし、新型コロナウイルス感染症対策もあり、保護者会等の開催には至っていない。(年会費はなく、事務局は事業所側としている) ・保護者会は立ち上がったものの、コロナ禍という事もあり活動自体を見合わせている状態である。 ・父母会はある。 ・父母の会は設置されていないが、検討している。 ・父母の会が今年度から設置されているが、新型コロナウイルスの為活動はしていない。 ・保護者会は立ち上がったが、コロナ禍という事もあり、実際の活動等は行っていない。 ・コロナ禍の為、積極的に行えていない。 ・父母会はないが、報告会を実施している。 	令和3年4月4日の保護者説明会の場で『保護者会』が設立しました。当事業所を契約した方、または既に契約済みの方、全ての保護者の方が保護者会に加入したこととなりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者会の実施や支援は行えない状況となっています。今後、感染症の状況を見ながら活動の実施を検討します。

③④	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・対応出来るものは即対応している。そうでないものについては、十分に説明をした上で環境が整い次第対応している。 ・窓口を設定し即対応出来る状態になっているが、苦情は出ていない。 ・即対応している。 ・迅速に対応するように心掛けている。 ・即対応を心掛け、実施している。 ・窓口は設定されており、対応出来る態勢は整っている。 ・適宜対応している。 ・適宜対応している。 	今後も相談しやすい環境を整えようと共に、丁寧な対応を心掛けます。
③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・行事については、月の利用予定を配布する際に伝えている。また、広報誌の発行も毎年行っている。 ・森田学園・相談支援事業所もりたと合同の広報誌を発信している。 ・年に1度広報誌を発行している。 ・今年度も森田学園や相談支援事業所もりたと合同での広報誌を発行予定である。 ・森田学園と合同で発行している。 ・年1回広報誌を発行し、活動内容等を記載している。 ・利用予定表を通じて、行事予定を発信している。広報誌は今後発行予定である。 ・定期的に広報誌を発行している。 	西北五広域福祉事務組合として、「森田学園」や「相談支援事業所もりた」と合同の広報誌を発行しています。今後も行事予定や活動概要について、積極的に発信します。
③⑥	個人情報の取扱いに十分注意しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関する書類等は事業所から持ち出さないようにしている。 ・個人情報が入ってある書類に関してはシュレッダーにて廃棄している。また、事業所を出たら個人情報を言わないようにしている。 ・十分注意しながら、支援にあたっている。 ・十分に注意して取り扱っている。 ・十分注意しながら行っている。 ・注意しながら、支援にあたっている。 ・十分注意している。 ・注意しながら取り扱っている。 	今後も個人情報には十分注意します。

③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童や保護者との会話には丁寧に耳を傾け、その都度分かりやすいように説明する事を心掛けている。 ・利用者や保護者との会話には慎重に耳を傾け、その都度利用者が分かりやすいように配慮している。 ・子どもの特性を把握しながら、その時の思いや願いを感じ取り、その旨対応している。保護者とは特別何かあった時ばかりではなく、普段から言い合える関係を整えるように気を配っている。 ・障害の特性に配慮しながら、ビジュアルなどを取り入れて支援している。 ・子どもの特性に配慮しながら、支援を行っている。 ・利用者や保護者との会話には丁寧な言葉遣いを心掛け、分かりやすい言葉で行うようにしている。 ・分かりやすい情報伝達を行えるよう、かみ砕いて説明したり、ビジュアルを使用して伝えている。 ・ビジュアルを使いながら配慮をしている。 	今後も丁寧な対応を心掛け、個々の特性や要望に配慮しながら支援を行います。
③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1 1	2 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の為、地域住民を招待する行事はないが、利用児童の保護者や家族を招待する行事は実施している。 ・森田学園祭は開催したが、コロナ禍なので大人の地域住民は招待していない。ただし、サクランボ狩りには児童や職員を招待している。 ・交流会（サクランボ狩り・栗拾い）を実施している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、地域の方を招待する行事は行わなかった。 ・地域の保育園を招待してサクランボ狩りを行った。 ・交流行事(サクランボ狩り)は実施されたが、森田学園祭はコロナ禍により規模を縮小して地域住民の招待等は自粛となった。 ・近隣の保育園等を交流会に招いている。 ・交流事業を行い、保育園や老人などを招待している。 	毎年地域住民を招待している「森田学園祭」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用児童とその家族の方のみに参加を募って開催したかたちとなりました。その他、「交流会」として地域のこども園等を招待したサクランボ狩りを楽しんでもらいました。

	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルを策定し、職員間で周知している。保護者に対しては、契約時や、保護者説明会で説明をしている。 マニュアルは所定の場所に保管しているので、常に振り返りが出来ている。また、職員会議でも読み上げる事で周知出来る場がある。保護者に対しては4月の保護者説明会にて伝えた。 職員間では周知しているが、保護者にも今後は定期的に伝えていく必要があると思われる。 マニュアルを作成し職員間での周知を徹底している。保護者には契約時と保護者説明会で説明している。 マニュアルを作成しており、職員がいつでも確認できるよう配慮されている。 会議等で読み上げる等、職員間で周知できる場がある。保護者へは、説明会に伝えている。 それぞれマニュアルが用意されている。保護者には契約時に説明している。保護者説明会で再度説明を行っている。 研修で不審者対応を行っている。 	今後も職員間での周知を徹底し、同時に訓練についても定期的に行います。保護者に対しては、説明会や保護者会等の場を活用して周知してもらえるようにします。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援利用児童を対象とした避難訓練や職員の消火訓練を毎月行っている。 毎月の消火訓練に加え、利用者と一緒に避難訓練を行っている。 毎月消火訓練、年に2回の総合防災訓練を実施。 利用児童を対象とした避難訓練や、職員の消火訓練を実施している。 月に1度、避難訓練を行っている。 毎月の消火訓練、毎月の利用者との避難訓練を行っている。 利用児童は毎月の避難訓練、職員は毎月の消火訓練を実施している。 毎月実施している。 	今後も毎月実施している避難訓練や、職員による消火訓練・通報訓練を継続します。
非常時等の対応	④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	1 3	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に確認をし、支援計画作成時にも備考欄に記載している。 書面に記入してもらう事で確認が取れている。 処方箋や、家や保育園から連絡をもらい、同意書を作成して説明をしている。 服薬やてんかん発作等がある児童については、保護者から状況を詳しく確認している。 保護者に確認し、その都度対応している。 契約時等の書面に記入してもらう事で、確認をしている。 家庭調査票を記入していただき、確認している。 保護者から処方箋をもらい確認している。 	今後も保護者やこども園等と連携しながら確認をします。

⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在、食物アレルギーがある児童は利用していない。今後必要に応じ、対応していく。 ・食物アレルギーがあった場合は対応出来るが、現時点ではない。 ・現在はないが、今後必要に応じては対応できる体制である。 ・現在対象児童はおらず、必要に応じて対応出来る体制である。 ・現在、対象児童はないが、必要に応じて対応している。 ・現在、該当者はない。ある場合は、対応出来る体制となっている。 ・現時点で食物アレルギーがある児童は利用していないが、対応できる体制は整っている。 ・現在は対象児童はないが、必要に応じて対応していく。 ・食物アレルギー今はないが、対応できます。 	現在該当する利用者はいません。今後、対象となる利用者がある場合は、厨房職員と連携しながら対応出来る環境が整っています。
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット作成時に、職員全員で対応の振り返りを行ったケースがある。また、定期的にヒヤリハット集を閲覧するようにしている。 ・共有する事で再発防止に繋がっている。 ・共有している。 ・報告書を作成。全職員で共有し、再発防止の話し合いをしている。 ・ヒヤリハットを作成、職員間で話し合い、必要であればミーティング内で話し合われている。 ・あった時は記入し、事業所内で共有する事で、再発防止に努めている。 ・情報共有し、再発防止に努めている。 ・作成したうえで共有し、ミーティングで話し合いを行い再発防止に繋げるようにしている。 	ヒヤリハットについては積極的に作成することで、再発防止に繋がります。
⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1 3		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染予防の為、研修の参加はないが、事業所に於いてセルフチェックリストの実施や倫理綱領等の読み合わせを行っている。 ・虐待防止委員会の設置に加え、会議等で虐待防止についての再確認出来る場がある。 ・新型コロナウイルス感染予防の為、研修には参加していない。当事務組合では、虐待防止委員会を設置している。 ・研修を行っている。 ・虐待防止委員会の設置や、会議等で再確認している。 ・外部研修に参加したり、園内研修を行っている。 ・セルフチェックリストを記入して自身の行動などを振り返り、適切に対応出来るよう心掛けている。 	西北五広域福祉事務組合では、研修の他にも虐待防止委員会を設置した中で対応をしています。また、朝礼を通して倫理綱領等の読み合わせも行っています。

	④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は該当する児童はいないが、今後該当する児童が利用する際は十分に説明をしたうえで対応していく必要がある。 ・身体拘束が必要だと思われる利用者が出た場合は、様式に沿って説明が出来る状態ではあるが、現時点で身体拘束を必要とする利用者はいない。 ・現在身体拘束が必要な利用者はいない。書類を作成し、契約時には説明をしている。 ・現在該当する児童はいない。今後対象となる利用者がある場合には、保護者の同意を得た上で同意書を作成し、計画書に記載していく。 ・同意書をもっているが、現在該当者はいない。 ・現在、該当者はいない。いる場合は、保護者へ丁寧な説明をして同意を得たうえで、同意書を作成、計画書に記載する。 ・現時点で対象児童はいないが、やむを得ず行うことがある場合は、事前に説明して同意を得ることになっている。 ・現在対象児童はいない。 	現在該当する利用者はいません。今後、対象となる利用者がある場合には、保護者の同意を得た上で同意書を作成し、計画書に記載します。
--	---	---	----	---	---	---